

講義名	経営学入門（商学部：1年生のみ）			授業形態	
担当教員	青木 良三	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要

- ・本講義の主題は、経営学の基本的な知識を提供することにあります。専門科目を履修する前に知っていて欲しい基本的な知識を学習できます。
- ・テキストを使って授業をしますので、授業の予習、復習もしやすいと思います。
- ・授業ではできるだけ事例を紹介します。抽象的な話しにとどまらず、ビジネスの世界で起きている出来事を例に経営学の用語を使って解説します。

到達目標

- 学生は、経営学の基礎知識・基礎用語を学習することによって、企業の動向に関する新聞記事のある程度理解できるようになります。
- 学生は、経営学で扱う問題（守備範囲）を理解でき、専門分野への関心が持てるようになります。
- 学生は、経営学の用語を使って、簡単なレポートを作成できるようになります。
- 学生は、企業に関する情報を収集し、ある程度分析できるようになります。

提出課題

- ・本講義は対面型で行いますが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業形態がオンデマンド型に変わる場合があります。その際は、授業の進捗状況に応じてレポートの提出を求めます。
- ・各章の理解度を確認するための課題を予定しています。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・レポート課題や質問について、講義の際にフィードバックしますが、内容に応じて講義連絡や質問者に直接電子メールでフィードバックします。

評価の基準

- ・成績評価は、期末定期試験によって行います。
- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンデマンド型授業への変更があるかもしれませんが、その場合は、それ以降の授業について課題レポートの提出を求めます。その課題レポートの合計点で、成績評価をします。
- ・成績評価方法を変更する場合（定期試験をレポート試験に変更）は、すみやかに連絡します。

履修にあたっての注意・助言他

- ・テキストの予習をしっかりと行うようにして下さい。

教科書

『1からの経営学』 第3版 加護野・吉村 碩学舎 2640 4502375217

参考図書

その他

- ・テキストの他にRYUKA Portal から資料を配付します。

授業計画

- テキストの各章を順に解説します。
1. 企業経営の全体像
 2. 経営学の全体像
 3. 企業と会社
 4. 企業とインプット（金融資本・労働）市場との関わり
 5. 企業とアウトプット（製品・サービス）市場との関わり
 6. 競争戦略のマネジメント（Part1）: 基本的な考え方
 7. 競争戦略のマネジメント（Part2）: 違いを作る3つの基本戦略と仕組みの競争
 8. 多角化戦略のマネジメント
 9. 国際化のマネジメント
 10. マクロ組織のマネジメント
 11. ミクロ組織のマネジメント
 12. キャリアデザイン
 13. 経営学の広がり（Part1）: ファミリービジネスのマネジメント
 14. 経営学の広がり（Part2）: 病院組織のマネジメント

授業形態（アクティブ・ラーニング）

☐ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・毎回1章のペースで授業を進めます。そのつもりでテキストの予習をしっかりと行うようにしてください。
- ・復習は、経営学の用語の意味と使い方を中心にしてください。
- ・予習に2時間、復習に2時間が目安です。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・本講義を受講することにより、企業経営の基本的な仕組みを理解できるようになります。
- ・本講義を通じて、企業が直面する課題を発見し、改善策を提案できるようになります。
- ・上記2点から、本講義を通じて、経営学的な観点から、情報収集を行い、収集した情報を分析し、改善策を提案できるようになります。情報収集力、情報分析力、提案力を養うことができます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・レスポンスを使用する場合は、事前に講義連絡します。

実務経験の有無及び活用

- ・実務経験あり。1979年から1997年まで銀行に勤務。産業調査、融資、ファンド運用を担当しました。企業分析の実務経験を踏まえたコメントができます。

備考

- ・講義について不明な点は、公開された電子メール（ryo2o_aki@red.unds.ac.jp）で対応します。
 - ・対面を希望する場合は、以下のオフィスアワーを利用してください。研究棟 207.
- 木 16:20～17:50
- 金 14:40～16:10